



# 周囲とより良い関係を築き 誠実なスタンスを貫く解体業者



代表 藤野 亮 [写真左から2番目]

スノーボードに没頭した10代を経て、解体業、溶接業などを経験。2013年4月に解体業を中心に手がける「FJワークス」を立ち上げた。表層的な対応に終わらず、相手の立場を理解したうえでの提案・対応を心がけている。

中村 棕 [写真右端] 田中 庸介 [写真左端]

東京都知事許可(登-24)第2185号  
埼玉県知事許可(登-25)第1334号  
解体から始まる住まいへの一歩  
FJワークス



〒350-1257  
埼玉県日高市横手1-3-44  
TEL / FAX 042-978-6563  
MAIL fjworks@yg7.so-net.ne.jp

一般家屋(木造、S造、RC造、アパート)  
内装、外構、解体工事、撤去工事、工事  
各ハウスメーカー・エクステリアの業者紹介、相談

## Company data

矢部 こちらでは主に解体業を手がけていると伺っています。

藤野 そもそもきっかけは、スノーボードに魅せられていた10代の頃まで遡ります。とにかく滑って腕を上げたくて、その資金を得るために、様々な職種から直感で解体業を選んだのです。その後、一度は退職するも、シーズンを終えて再び解体業に戻ることになりました。

矢部 以来、解体業一筋なのですか？

藤野 いえ、一旦は溶接業に就きました。一見、解体とは関係のない仕事のようにですが、解体には鉄骨をガスバーナーで焼き切る作業もあるので、その意味では役立つ経験ができました。その後、知人に誘われて解体業に戻り、しばらくして理想を追うために独立を決意したんです。

矢部 代表にとっての「理想」について聞かせてください。

藤野 1つは「関わる人たち皆と良い関係を築く解体業」を行うこと。たとえば、

こちらが横柄な態度だとお客様も要望を伝えづらくなってしまいますから、常に誠実に接するよう心がけています。それにより、お客様が声をかけやすくなるだけでなく、近隣の方からも温かく見守ってもらえるようになるんです。

矢部 たしかに解体はどうしても音や振動が出ますから、周囲の方との関係づくりは大切ですね。

藤野 そうですね。もちろんこちらとしても破片が飛んだりしないように最大限の注意を払いますし、近隣の方からのご理解を得るという意味でもコミュニケーションが重要です。また、同時に綺麗に仕事をすることも意識しているんです。

矢部 具体的にはどういったことでしょうか？

藤野 たとえば解体後に生じる木くずや解体材は、可能な限り美しく積むようにしています。言ってみればトラックの積み荷は解体業者の顔。役目を終えた廃材

の扱い方を見れば、現場での仕事も想像できます。

矢部 なるほど。何だか「理想を追う」とは「イメージを変える」とも言い換えられそうです。

藤野 おっしゃる通りです。解体業というのは、ただ「壊す」だけではなく、リサイクルの最前線で仕事をしているということも知って頂きたいんです。廃材はウッドチップとして燃料になり、金属類は再利用され新たな建材になります。そうしたエコに貢献できる業種としての認知度をより高めていきたいですね。

矢部 では最後に、今後の展望を教えてください。

藤野 1年後には新しい従業員を雇い入れ、3年後に法人化を目指します。また、現在は解体業中心ですが、もう少し規模が大きくなったら他事業の展開も視野に入れているんです。そのためにも、まずは一歩ずつ進んでいきます。



▲解体作業風景(一部)

## Guest Comment

矢部 美穂 (女優)

「近い将来、消費税率が上がれば住宅の建て替えも需要が減っていく。冬の時代を乗り切り、それをバネに飛躍したい」と語られた藤野代表。先を見据える冷静さと共に、熱い情熱も秘めた方だと思いました。これからも、誠実な姿勢を大切に、頑張ってください！

